7月31日（金曜日）「違いが見える」

【新改訳 2017】

マラキ書　3•13－18

「あなたがたは言う。『神に仕えることはむなしいことだ。神の戒めを守っても……何の益になろう。……―万軍の主は仰せられる―わたしが事を行う日に‥‥‥あなたがたは‥‥‥神に仕える者と仕えない者との違いを見る‥‥‥。」（14－18節）

古今東西を問わず、信仰者はしばしば誘惑に捕らえられ、疑い、失望に陥っています。「救われた罪人」だからです。私たちも同様に、しばしば聖書の教えを守ることや奉仕すること、まじめにささげること等に気後れしたり、むなしさを感じたりしています。

筆者も経験しました。ただし、それは神よりも人を見たり自分を見たりしている時でした。でも、違いは必ず見えてきます。終末の時はもちろんですが、今日の日常生活の中でも見えてきます。

真の生ける神に仕えることがむなしいことであるなら、他のどんなことにむなしくないことがあるでしょうか。迷わずに、

神に仕える歩みが続けられますように。

～祈り～

主よ。世の去り行く物事に仕えて、尊い人生を消耗していながら、まことの神に仕えることがむなしいなどという声や思いに、惑わされないように守ってください。

【学びのために】

ヨシュア 24•14-15 参照。